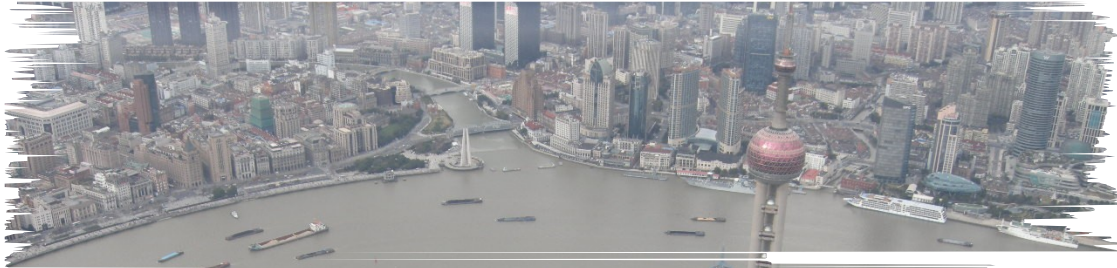




中華人民共和国 派遣期間 2014年1月～2017年3月

上海日本人学校虹橋校報告

別海町立上春別中学校
教頭 山本 和浩



市

上海
のラ

ランドマーク、上海中心大廈の118階展望室（地上546m）からの眺め

1 上海市について

上海市の人口は、地方からの出稼ぎ者を含めて約2400万人（北海道の人口の4.5倍、ここ10年間は毎年60万人ほど増えている。）面積は6340.5平方キロメートルで北海道の12分の1（釧路振興局管内よりも広く、ほぼ大分県と同面積）。

但し、人口が集中する区と自然の残る地域があり、地震がほぼないため人口の集中する区では、10階～30階建てほどの多くの高層住宅が建っている。

2017年の春頃に世界中のTVのCMで「iphone7 Plus」が流れていた。

時間にして1分ほどの長さである。まだ見られてない方はYouTubeの「iphone7Plus The city CM」の動画検索で視聴できるので、機会があれば是非一度ご覧いただきたい。リアルタイムの上海がよくわかる。CMの内容は、男性が多くの人が行きかう雑踏の中でiphone7 Plusを取り出し、女性に向けてiphoneのシャッターを切ると、驚いたことに賑やかだった通りから人が消えて、誰もいなくなる。町並みはそのままで、2人だけの世界になる。あちこち新旧の町並みを行くのですが、最後にもう一度シャッターを切ると、街の中にたくさんの人が戻ってくるというCMである。その舞台になった場所こそ、今の上海です。写された場所は、豫園（ヨエン）、南京東路（ナンジントンルー）、陸家嘴（リュウジャージー）、外灘（ワイタン）など、上海の有名な観光地である。

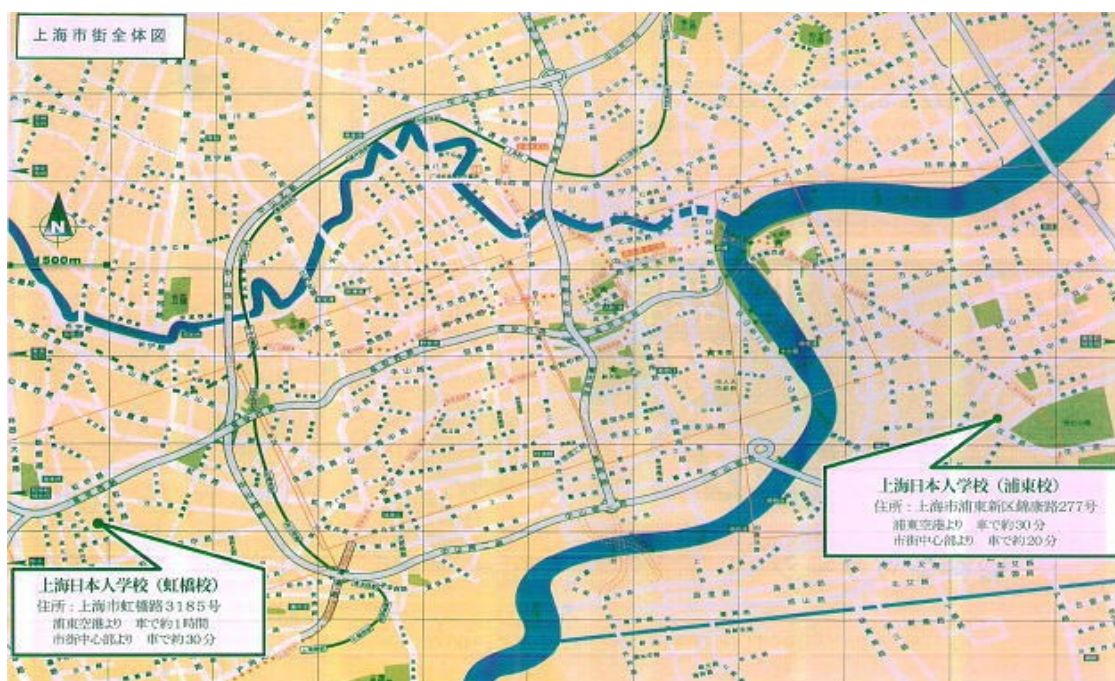
2 上海日本人学校虹橋校について



上海日本人学校開校 30 周年記念式 2016 年 11 月 児童生徒・職員・来賓 計 2800 名

中華人民共和国には日本人学校が 10 校、補習校が 5 校ある。そのうちの 3 分の 1（2016 年現在児童生徒数約 2500 名）が上海日本人学校に通っている。2016 年度、虹橋校（小学部のみ児童 1200 名弱）、浦東校（小学部と中学部あわせて 1200 名弱）、高等部（100 名ほど）の 3 校があり、虹橋校は単独の小中学校としては世界最大規模である。赴任した 2014 年虹橋校には 1400 名超の児童が在籍した。

上海日本人学校（高等部）
（浦東校隣接グラウンド等借用）



上海日本人学校の位置

①虹橋校（ホンチャオ校）のデータ

（学級数）1学年5～10学級、特別支援1学級（虹の子学級）計45～55学級（年度によって異なる）

低学年の時は家族帯同が多いが、卒業近くになると全国の私立中学校への進学傾向が強く、父親が単身赴任をして、母親と子ども達は日本で生活をするパターンが多くなっている。

虹橋校全景



（ドローンによる撮影）

25m室内温水プール

②設備

校舎2（南北校舎2・3階建て・東校舎5階建て）、体育館2、室内温水プール1、普通教室44、図書室2（蔵書3万5千冊）、音楽室3、理科室3、図工室2、調理室1、家庭科室1、PC室2、事務室1、事務長室1、職員室1、校長室1、カウンセラー室1、保健室1、応接室1、会議室3、学習室10、資料室1、学習園、天然芝のグラウンド、全天候型400mトラック（6コース）

③教員数

日本人教師70名、養護教諭1名、中国語講師6名（常勤学校採用）、ALT3名（非常勤外部委託）、スクールカウンセラー1名（常勤3校共用）

各学年には、担任のほか副担任として音楽専科（6名）、理科専科（3名）、英語担当（2名）、ICT担当（1名）、家庭科専科（1名）がいる。

④職員数

事務職員10名、看護師2名、運転手1名、技能員（公務補）5名、外部委託プール管理監視員常勤2名、プール常勤医師1名、警備員14名（外部委託 1日3交代24時間警備）



虹橋校教職員 110名

3 外教育施設における教頭の仕事について（上海日本人学校虹橋校の場合）

（1）教職員の管理等に関すること

①赴任予定者への各種連絡、上海市や文科省への提出書類の準備・整理・集約、連絡」

②帰任者への連絡、文科省提出書類の準備・整理・集約・印鑑等の整理

③教職員の勤務状況の把握（出勤簿、休暇処理簿等の準備・整理）

④学年経営・学級経営・専科経営並びに学習指導等への指導、助言

⑤校務分掌の業務に関する指導、助言

⑥教職員・帯同家族の安全・健康管理に関すること

⑦服務に関することについての日常的な注意喚起

（体罰の禁止、信用失墜行為の禁止、説明責任の義務、守秘義務等に加え公用旅券の管理）

⑧銀行カードの紛失の防止についての注意指導、紛失後の対応

⑨各種事故・事件への対応、事務局、領事館等への連絡・協力

（2）児童の入学・転入学に関すること

①入学・編入学児童保護者への学校概要説明（年間20回程度、1回につき数名～150名）

②入学条件（日本語能力不足）による、入学不許可時の保護者面談と入学断りの対応

③各種問い合わせに関する相談や連絡

④毎学期始め、末に転出入児童の紹介 50名から150名程度、始業式・終業式後に学年〇名と簡単に

に

（3）文科省国際教育課への報告等に関すること

「在外教育施設派遣の手引き」に掲載されている届や各種報告（教育課程調査・教科書等）の報告を行う。次の時期には関係の届等多数。届・願のチェックや訂正、メール添付または原本送付。

① 4～5月は、新派遣者関係書類、住居申請（全員）、子女教育手当等の提出。

② 6月に学校調査（調査項目は多岐にわたる、しかし他の時期には調査物はほぼ無い。）

③ 10～3月は帰任者関係提出書類の説明、集約、点検、送付。

④ 1～3月は着任予定者への連絡、必要提出書類の確認。

⑤ 長期休業前は私費一時帰国願、任国外旅行願、離認地届（校内）、事前の調整、職員動静表の作成。

（4）児童の健康安全に関すること

① 毎日PM2.5の上海市発表の把握と屋外使用可否の判断、校内放送の対応。

② 校内児童のけが発生時に養護教諭と連携し、症状に応じた提携保険会社への手配依頼。保護者への連絡対応

③ 学校医の上海ファミリークリニックとの連携（運動会、修学旅行）と依頼連絡

④ 感染症（インフルエンザ他）への状況把握、保護者向け文書作成、配付

⑤ 生徒指導関連文書の作成、配付。

⑥ 教員向け救命救急講習の計画、講師招聘等依頼（心肺蘇生、AED、エピペン等）

⑦ 火災・地震・不審者対応避難訓練等の関係機関への連絡・依頼等

（5）月1回企画会議、職員会議、学年主任会の招聘と準備

① 企画会議・職員会議（毎月）での職員への周知。

② 学年主任会議（毎月）での指導助言。

③ 各種校内外配布文書・企画会議資料・学年便り等のチェック。

（6）備品、教材・施設管理に関すること

① 予算担当、購入担当、会計担当と連携し備品購入教材テストドリル等について購入計画、管理。

② 事務主任、校舎営繕管理担当スタッフと連携し、校舎、設備、グラウンド芝生、樹木等の管理。そのための日常的な校舎内の見回り。長期休業時の特別校内清掃等の計画の教職員への周知。

（7）学校行事等に関すること

① 着任式、始業式、終業式、修了式、離任式の会開閉会宣言、離任児童の紹介

② 入学式、卒業式の来賓（総領事館、運営委員会、幼稚園、現地交流校等

計40名程度）への案内状発送出席確認、礼状送付、来賓紹介、祝辞紹介、来賓対応。

③ 運動会への案内状礼状発送来賓出席の確認・来賓紹介、各学年の学習発表会への出席確認。

④ 各学年の現地校・インター校との交流に関すること。

（8）日系幼稚園との連携に関すること

① 年3回程度の幼少連絡会での協議

② 各園年長児等の状況把握のための訪問

③ 各日系幼稚園の運動会等の本校施設グラウンド体育館の貸与

④ 新入学児童の1年生との交流会の連絡

⑤ 入学児の引き継ぎ連絡、依頼

（9）新派遣教員の住居選定

① 不動産屋への依頼、条件の交渉

② 下見（30～50件）、住居の決定

③派遣者への通知、各派遣教員世話役の決定

(10) その他

①学校運営委員会へのオブザーバー参加(2ヶ月に1回 当番校の時のみ)

②国内教育関係者、現地交流校、上海市教育関係者の施設見学、学校案内

③校内での公演の折衝・連絡窓口

④本校施設貸与について事務局と共に検討、対応

⑤上海総領事館学校担当者、領事部担当者との連絡、連携

⑥上海日本人学校浦東校、高等部との教頭間連携、調整

⑦教員、事務局からの相談

⑧派遣教員配偶者会の相談役

⑨担当が決まっていない諸案件への対応、例えば校地内で発見された野鳥の死骸の処分、アポイントなしに来校する卒業生やご家族の方の対応。(前もって連絡のない突然の学校見学は、対応できないことが多いため、すべてお断りしていた。)

※校長には、日本人教師の確保(面接採用)、上海日本人学校3校全体に係る中長期的な計画など日本の教育委員会的な仕事もあった。

4 上海日本人学校虹橋校の諸課題

①教職員の欠員補充

多くの教員がいるため、毎年様々な理由で必ず休職等があり、各学年に2~3名配置される副担任のみでは対処できないことがあり、副担任が担任を持つことや、授業を持っていない教務副主任等

が担任や授業をせざるを得ないことがある。年度途中で欠員が出ても児童への影響が最小限になる

よう、あらかじめ採用や配置には工夫をしている。

②校車バス

上海市政府、上海市教育委員会、公安等の厳しい指導で、従来の公営バスの運行が禁止になった。3ヶ月間の保護者送り迎えによる児童の個人通を経て、新たな校車バス(電気自動車)の運行が2015年4月に始まった。

およそ8割(約900人ほど)の児童が校車バスを利用している。制度的に適法なバスではあるが、各公寓(マンション)のバスの停車位置、ドライバー乗務員の安全運転、乗務員の教育の徹底等

様々な課題はある。

③派遣教員の住居

派遣教員の住居については、毎年のように入居している住居の一つが転売され、その影響で転居を

余儀なくされた教員がいて3年間同じ物件に住むことのできる教員は少ない。保護者も同様な状況

であり、賃料の値上がりも影響もあって学校周辺では物件が見つからず、現地の方が多く住まわれ

る住居や、学校から遠く離れた住居所へ転居する教員もいた。

④特別支援教育

在外教育施設における今後の教育指導のあり方等、日本人学校への転入学時に特別支援教育を望む

保護者が増えている。現在、軽度障がいの児童のみを・受け入れ、専門的な経験や知識をもった学校採用教員を採用することによって対応している。今後ますます特別支援教育を望まれる保護者の増加が考えられる。

⑤日本語指導

両親の国籍が異なる多文化家庭の入学児童数増加に伴い(2割程度)、日本語能力が他の児童と比べ多少不足気味の児童が増えている。現在の家庭環境で、家庭内で日本語能力を伸ばすことが難しい児童に対し、まずは必要な1年生の児童から、朝の読書の時間帯を使い、学年副担任等が日本語指導を試行。その成果を受けて、2学年への実施など継続して取り組んでいる。

5 上海の暮らし

①激しい開発ラッシュ

現在は、ものすごい速さで古い街並みがどんどん消え、その

あとには真新しい商業施設や高層住宅が建てられている。

そ

の理由は、中国では土地は個人所有が認められておらず、

用

途に応じて30年、50年などの借地の権利を得て、毎年市や政府に借地料を払う形になっているからである。

日本人学校の周りでも、住宅建設や地下鉄新路線工事など

開

発のため、突然の立ち退きが多かった。しかし、これは悪い

い

ことばかりでなくそこに住んでいた人にメリットがあるようで、新たに建てられた高層マンションに2世帯分の部屋

が

割り当てられる人もいるようである。1軒は自分で住んで、

もう1軒は子どもや親族が住む、あるいは他人に貸すことができるという話を聞いた。ここ数年、多くの日本人が住んでいる(100世帯)住居が改修や売りに出されることもあった。

②住居

私は、学校に隣接する丸紅、大和ハウス、現地企業の3社の合弁会社で開発された築20年ほどの戸建て(2階建ての大和ハウス)に住んでいたが(120世帯ほど入居)、着任2年目に借地の延長ができなくなって閉鎖になり、徒歩30分ほど離れた集合住宅に転居した。

住居に関する問題は、最近売り手市場のため、ちょうど良い物件の少なさ、家賃の値上がり、物件の老朽化など、新派遣教員の住宅を探す教頭にとって、頭の痛い問題である。



③上海在住の日本人

中国と聞くと、「PM2.5」「食に対する安全不振」など良いイメージを持たない人が多いのは事実であるが、実際に暮らしてみるとイメージとは大きく違った。

上海でも1年のうちには確かに空気の悪い時があったが、空気清浄機を備える家庭も多く、日本人学校では、全ての教室に大型の日本製空気清浄機があった。また、グラウンド等野外の活動には、HP上の上海市の発表を元に自主規制を行っていた。また、上海に在留している日本人は、およそ5万人もいたため、ほぼ日本と変わらない生活を送ることができた。中国人以外の中で一番多い外国人が日本人である。

④デパート、スーパー、コンビニ、レストラン

「高島屋」「伊勢丹」「大丸」等の日系デパートや「久光」「アピタ」「しんせん館」等の日系スーパーが出店していた。コンビニも、一番多いのが「ファミリーマート」（上海市内で1200店舗以上）で、他に「ローソン」「セブンイレブン」もいっぱいあった。また、ほとんどの大型現地系ショッピングセンターには、ユニクロや無印良品がはいついて現地の方で賑わっている。日本食は上海でもブームになっており、「濱寿司」「がってん寿司」などの回転寿司、「丸亀製麺」などのうどん店、ハウスが展開する日式カレー店「coco 壺番屋」、牛丼の「食其家（すき家）」他にも「〇〇食堂」「そば屋」「とんかつ屋」「鉄板焼き」「和民」などの居酒屋等々上海市内には2000軒以上の日本食料理店があり、どこも大変盛況であった。

世界展開しているおなじみの「麦当劳」「肯德基」「必胜宅」「星巴克咖啡」の店がたくさんあった。（漢字を見ると何となく読めそうな感じもしますね。読み方はこのページの下にあります。）

⑤10元ショップ

また、「大創（ダイソー）」の100円ショップならぬ10元ショップでは、日本で売られているものと変わらない品が10元（180円）で手に入った。ちなみに、名創優品（メイソウ）という広東省発祥の同様の10元ショップもたくさんあった。

6 上海の交通事情

交通の便が素晴らしく良く、かつとても安い。上海市内の足はバス、地下鉄、タクシーの3つ。この3つに共通で使えるsuika (kitaka) のような「交通カード」があり、すきな額だけ、カードにお金をチャージして使うことができる大変便利なカードである。

①上海市バス

2区間から10区間程度なら2元（約30円）それ以上でも100円まではしない。

バスにGPSがついているため、バス停では何番のバス（〇〇行き）は何時何分に来るか見やすく表示されている。5分から10分間隔で来る。交通事情のため運転が乱暴な時が多いが、お年よりのために座るまで待ってくれる運転手もいる。

お年寄りや小さい子ども連れには、若者が席を譲っている姿を普通に良く目にする。電気バスが増えている。

②地下鉄（上海軌道交通）

朝6時から夜10時頃まで運転している。2駅なら30円、25駅位（1時間程度）でも300円くらい、2016年現在は、1号線から16号線まで走っているが毎年1本程度開通している。上海

ディズニーランドのための駅も昨年できた。このうち2号線（2000年に開業現在総延長63.8km）は上海を東西に29駅横切っている。この2号線一本だけでも一日最大利用者数は163万人と世界一となっている。時間帯により3分から10分の間隔で運転していた。なくなる。

③タクシー

ドアは乗るお客さんが自分で開け閉めする。初乗りは14元(250円)ほど、正午頃はドライバーがお昼をとるためいなくなる。また、雨の日や金曜日の夕方は使う人が多く、ほぼ捕まらない。スマートフォンのアプリで近くを走っているタクシーを追加料金で呼ぶこともできる。漢字で書いた通りの名前や目的地のメモを見せるとよく通じた。

ちなみに、上海日本人学校では交通事故の危険防止と事故を起こしたときに中国語での個人対応が難しい等の理由から、自動車の運転は許可していない。同様に電動バイクも禁止。自転車による学校への通勤も許可していないが、近くの店までは買い物にたまに自転車を使うこともあった。

※読み方はマクドナルド（ハンバーガー）、ケンタッキー（フライドチキン）、ピザハット、スターバックスコーヒーです。読めましたか。（子どもへのクイズに使えます。）

※その他の交通機関

④飛行機

市内に国際空港が2つあり規模は大きい。どちらも国際線・

国内線が数多く乗り入れている。市内により近いのは虹橋空港、少し遠いけど夜中まで飛んでいるのが浦東空港であった。

⑤リニアモーターカー（上海トランスラビット）

2004年に世界初の営業運転を始めた。ドイツの技術ででき

た通称「モグレブ」。最高時速は430km、但し浦東空港から市内への30kmの区間のみ8分間運転している。

（写真：モグレブの磁力の影響で浮いている息子。単に横を走っていただけの写真ともいいますが。）



⑥鉄道

高速鉄道（中国版新幹線）が主流である。

上海虹橋駅はおそらく世界一規模の大きな駅でホームだけで30ある。一日200本~300本の新幹線が出発到着する。上海には同規模の駅が、虹橋駅、上海駅や上海南駅、合わせて3つある。

7 デリバリー

家から一歩も出なくてもほぼすべてのレストラン（ファストフード、日本料理、イタリアン、タイ、中華、多国籍な料理など）デリバリーで頼めない料理はない。忙しいときはすぐ電話一本。1時間程度で自宅まで届く。定期的に日本米の注文なども取りに来てくれた。水など重たい物は特に助かった。食事以外にも、エステ、注文服（写真や絵を用意して自宅で採寸し生地を選ぶと2

～3週間くらいで完成して届けてくれる)、手作りの鞆、中国語会話、英語、ドイツ語、韓国語、ロシア語などのあらゆる語学。グループで太極拳や音楽なら個人レッスンの二胡に人気があった。すべて自宅に先生が来てくれて教えてくれる。

8 病院 (日本人のお医者さんがいる)

常勤の日本人医師が1人から10人くらいいるクリニックは10くらいある。それぞれかかりつけのクリニックがある。当然、内科だけでなく歯科、小児科、産婦人科もあった。大きな総合病院 (ベッド数何百床) には必ず国際部というVIP待遇の病棟 (最上階に近い階でワンフロア全部) があって、日本への留学経験のある、または日本の医学部を出た日本語の堪能な中国の医師たちと病院内での日常会話なら日本語ができるたくさんの看護師がそろっていたので、病院内で中国語を話す必要がなかった。

9 その他の観光地

有名な中国雑技団の劇場や京劇の劇場もある。市内には2016年6月にオープンした上海ディズニーランドがある。日本よりも待ち時間は少ない。スマートフォンのアプリで行列の待ち時間もわかる。近隣には三国志のテーマパークや、複数の世界遺産もある。